

TOTO

和風大便器用耐火カバー

HG755E型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1-1 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けたいだけ、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

この耐火カバーは、和風大便器の床下突出部を完全に被覆し、階下で火災が発生した場合の熱による大便器の破損・落下を防止し、上階への延焼を防止するガラス繊維強化セメント製耐火カバーです。当耐火カバーは完成図に示す内容で国土交通大臣認定品として認められております。
商品の機能が十分に発揮できるように、必ず完成図に示す配管材料で施工を行ってください。

国土交通大臣認定番号	PS060FL-0240
------------	--------------

注意

当耐火カバーはセメント製品ですので、取り扱いに注意し、衝撃を与えない
ひび割れなどが生じますと耐火性能が著しく低下し、階下で火災が発生した場合に、大便器の破損・落下が生じ、上階への延焼の原因になることがあります。

禁止
本体内側に断熱材(ロックウール)をセットしていますので水にぬれない場所に保管する
水にぬれますと断熱性能が低下し、階下で火災が発生した場合に、大便器の破損・落下が生じ上階への延焼の原因になることがあります。

1-2

注意

必ず実行
防水施工の場合は、防水層を大便器リム下まで巻き上げる
アスファルト巻き(緩衝材)の途中で施工仕上げを行いますと床面に水をこぼすなどした場合、階下への水漏れの原因になることがあります。

2 部品の確認

耐火カバー本体 (1セット)
断熱材 ※耐火カバーに貼り付けています。

アンカーボルト (本体固定用) (6個)
ヒルティ製スタッドアンカー (M6×85)

小ねじ (左右固定用) (2個) (M6×45)

座金 (本体固定用) (6個) (φ6.5×φ40×2.3)

座金 (左右固定用) (4個) (φ6.5×φ24×1.6)

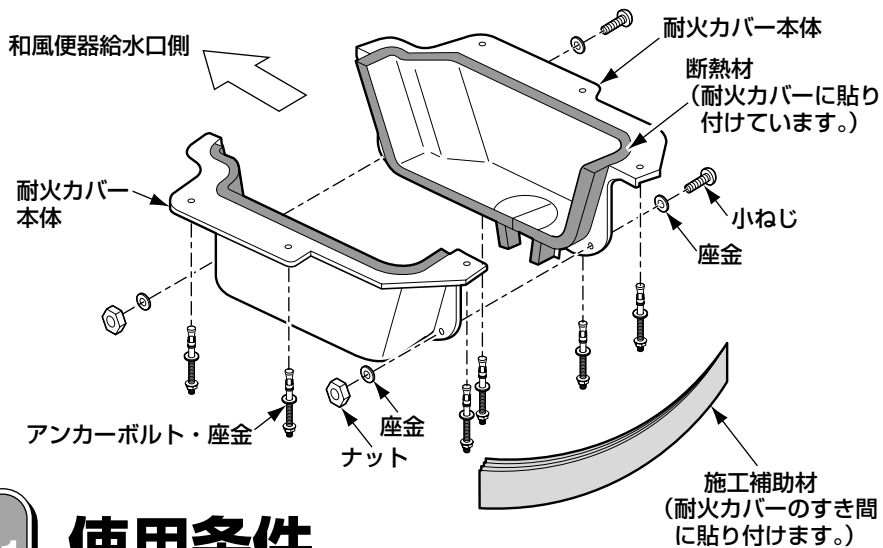
施工補助材 (5枚) 日本製箔(株)製 A-PAT

施工説明書 (1枚)

型紙 (包装箱中敷兼用) (1枚)

M6ナット (左右固定用) (2個)

3 構成図

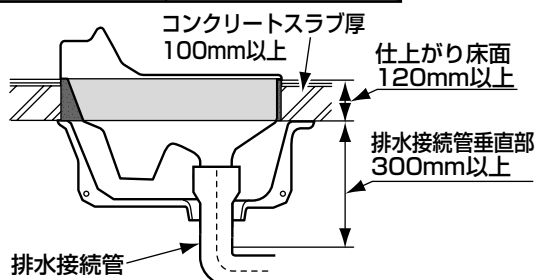


4-1 使用条件

- この耐火カバーは、和風便器および給排水管の取り付け完了後にコンクリートスラブ下面より取り付けるタイプです。施工枠や支えブロックの機能は有しておりませんので、施工枠などの準備をお願いします。
- この耐火カバーに使用できる和風便器は次の品番です。

C750	C755U	C756C
C750F	C755FU	C756VC
C750V	C755VU	
C750VF	C755VFU	

- 排水接続管の取り付け
排水接続管はコンクリートスラブ下面より最低300mmは、垂直に立ち下げてください。垂直でないと耐火カバーの取り付けができません。



4-2

	排水接続管 ⑦ 完成図中A	排水管本管 ⑦ 完成図中B	接続管被覆材 ⑦ 完成図中C
配管例1	硬質塩ビ管	硬質塩ビ管	セラミックファイバー (厚さ25mm) + 亀甲金網 (φ0.5×10mm目)
配管例2	硬質塩ビ管	二層管	
配管例3	硬質塩ビ管	鋳鉄管	
配管例4	鉛管	鋳鉄管	
配管例5	軟質塩ビ管+硬質塩ビ管	硬質塩ビ管	
配管例6	軟質塩ビ管+硬質塩ビ管	二層管	
配管例7	軟質塩ビ管+硬質塩ビ管	鋳鉄管	
※配管例8	ゴム製接続管+硬質塩ビ管	硬質塩ビ管	
※配管例9	ゴム製接続管+硬質塩ビ管	二層管	
※配管例10	ゴム製接続管+硬質塩ビ管	鋳鉄管	
※配管例11	ゴム製接続管	鋳鉄管	
配管例12	二層管	硬質塩ビ管	
配管例13	二層管	二層管	
配管例14	二層管	鋳鉄管	

- ※印の配管例はフランジ式和風便器には採用できません。
- 排水接続管に軟質塩ビ管およびゴム製接続管を使用する場合は、下記の組み合わせとしてください。

便器タイプ	接続管タイプ	排水管本管	メーカーおよび商品名	備考
C750 C750V C755U C755VU C756C C756VC	軟質塩ビ製	硬質塩ビ管 二層管 鋳鉄管	(株) アキレス アキレスジョイント 和風便器用	※本管接手との接続に塩ビ管が必要
		硬質塩ビ管 二層管 鋳鉄管	(株) 積水化学工業 ネオジョインター ジャバラ製(塩ビ管用)	
C750F C750VF C755FU C755VFU	軟質塩ビ製	鋳鉄管	(株) 積水化学工業 ネオジョインター ジャバラ製(鋳鉄管用)	・T53FWA75のフランジ要 ※本管接手との接続に塩ビ管が必要
		硬質塩ビ管 二層管 鋳鉄管	(株) アキレス アキレスジョイント 和風便器用 フランジタイプ	

※上記軟質塩ビ管およびゴム製接続管は、弊社では取り扱っておりませんので、詳細寸法や施工に関しては、メーカーの方へ直接おたずねください。

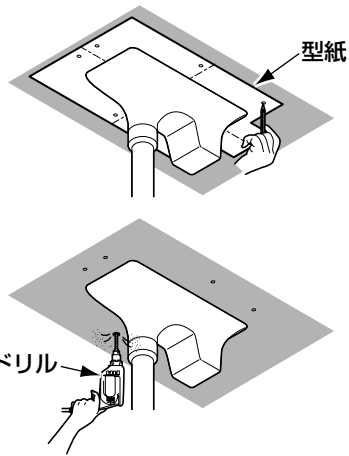
裏面へつづく

5 施工要領

この耐火カバーを、取り付けされる前に和風便器および給排水接続管の取り付け、通水検査を行ってください。

1 アンカーボルトの下穴あけ

- ①和風便器の排水口を中心に墨出しをして、同梱されている型紙をコンクリートスラブ下面側から中心線を基準に合わせて、下穴位置を墨出しする。
- ②耐火カバーの取付穴と墨出し位置を現物確認後、コンクリートスラブ下面側からドリルなどで穴あけを行い、下穴内部を集塵機などで切粉を除去する。

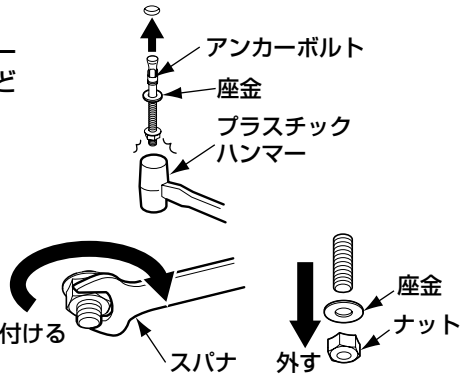


注意

下穴径：6.0mm、深さ：45mm
下穴径を間違えると取り付けられません。

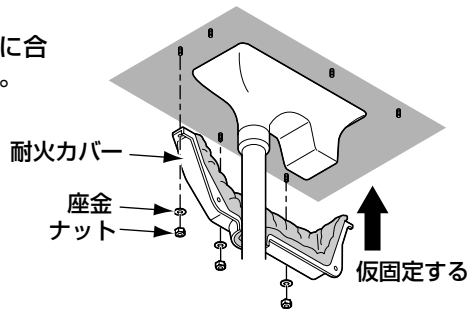
2 アンカーボルトの取り付け

- ①座金とナットがセットされた状態のアンカーボルトを、下穴にプラスチックハンマーなどで軽く打ち込む。
- ②ナットを締め付け、アンカーボルトを固定する。
※強く締め過ぎると割れるおそれがあります。約5N・mで締め付けてください。
- ③固定確認後、ナットと座金を外す。締め付ける

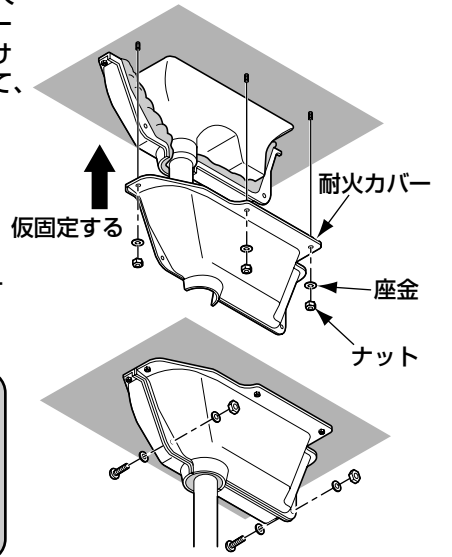


3 耐火カバーの取り付け

- ①片側の耐火カバー本体をアンカーボルトに合わせて、座金とナットにて仮固定をする。



- ②もう片方の耐火カバー本体は、左右の耐火カバーのすき間が最小になるようにアンカーボルトのナットをゆるめて調節し、貼り付けてある断熱材をはみ出さないように合わせて、座金とナットで仮固定する。



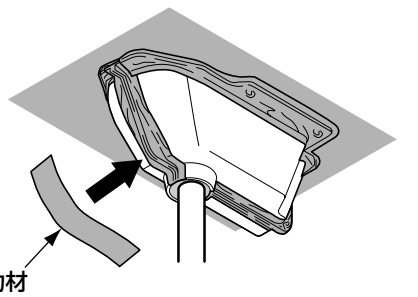
- ③すべてのナットを均一にスパナなどで締め付ける。

注意

インパクトレンチでのナットの締め付けは商品を破損させるおそれがあるため、使用しないでください。

4 施工補助材の貼り付け

- 取付面、左右の合わせり面などに施工補助材を適当な大きさに切り、すき間に貼り付けて目張りをする。
- ※すき間が広い場合は埋めモルタルや耐火パテなどであらかじめすき間を埋めてから施工補助材を貼ってください。施工補助材だけでは十分な耐火性能が得られない場合があります。



注意

- ・穴埋用施工補助材はアルミ箔が貼ってあります。アルミ箔の端は非常に鋭く手などを切るおそれがあります。ご注意ください。
- ・穴埋用施工補助材を貼る前にコンクリートスラブ面の湿気や汚れを取り払ってください。
- ・耐火カバーの湿気や汚れも取り払ってください。
- ・目にごみなどが入らないように注意してください。

6 排水接続管の耐火被覆

〈排水接続管が硬質塩ビ管・鉛管・軟質塩ビ管・ゴム製接続管の場合〉

被覆要領	注意点
<ol style="list-style-type: none"> ①形の崩れない不燃材で、合わせ面にすき間が生じないように排水接続管全体を覆い、耐火カバー突部・排水管本管にオーバーラップさせてください。 ②次に、不燃材の開きを止めるため、亀甲金網で囲ってください。 ③最後に、耐火カバー・排水管本管にオーバーラップさせた不燃材をバンドまたは針金で固定してください。 	<p>排水接続管被覆用の不燃材として耐熱1,000℃のセラミックファイバー(シート状)をご使用ください。排水接続管被覆用の不燃材は弊社では取り扱っておりませんので、詳細に関しては、下記のメーカーへ直接おたずねください。</p> <p>セラミックファイバー(シート状) メーカー名：イソライト工業(株) 商品名：イソフェルト</p>
<h3>注意</h3> <p>耐熱1,000℃以上の不燃材を使用してください。 耐熱1,000℃未満の不燃材を使用すると、耐火性能が著しく低下し、階下で火災が発生した場合の熱により、大便器の破損・落下が生じ、上階への延焼の原因になることがあります。</p> <p>必ず実行</p>	

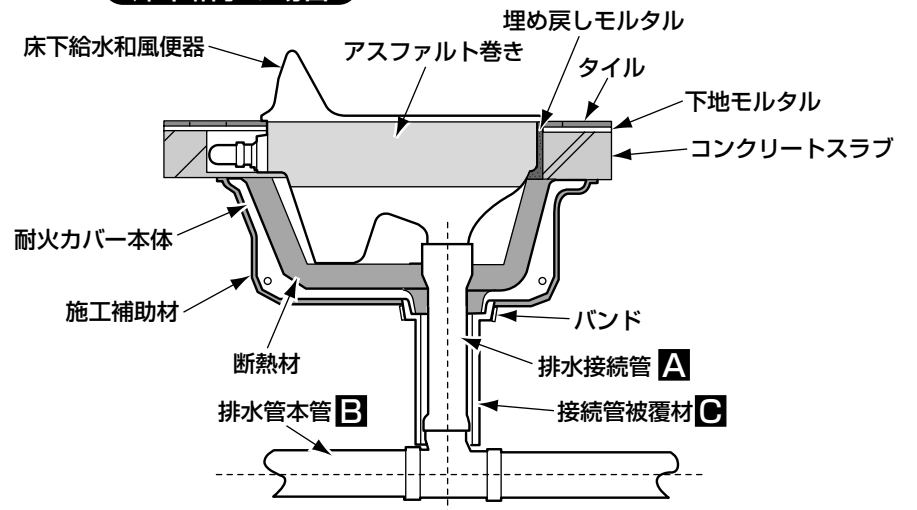
〈排水接続管が二層管(繊維補強モルタル被覆硬質塩ビ管)の場合〉

二層管は不燃材の管内に硬質塩ビ管の入り込んだ二重構造ですので、耐火被覆の必要はありませんが、次の点に注意して確実に施工してください。

- ①左図Aのように、耐火カバー内側に排水接続管の被覆管端部が入り込むように大便器に接続してください。
- ②被覆管端部が耐火カバー内側に入り込まない場合は、耐火カバーと被覆管とのすき間をふさぐため、不燃材を左図Bのように巻き、両端をステンレスバンドまたは針金で固定してください。

7 完成図

床下給水の場合



床上給水の場合

